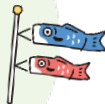


大阪公立大学医学部附属病院 患者総合支援センターたより

Vol. 57

令和7年5月



【発行】患者支援課 TEL:06-6645-2857

- 病院長あいさつ
- 公大病院の「Face to Faceの会」って何？
- 診療科紹介
消化器内科/呼吸器外科



病 院 長 あ い さ つ

日頃より大阪公立大学医学部附属病院に格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。

2022年4月に発足した大阪公立大学の附属病院として、今年で4年目を迎えました。

大阪市内唯一の大学病院として、また特定機能病院として、地域医療を支えると共に患者さんに満足していただける安全で質の高い医療を提供すべく、日々努力を続けております。昨年度は、地域医療連携強化を目的としたイベントやセミナーも多数開催し、多くの方々にご参加いただきました。

今年度も、引き続き患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供し、従来の考えに拘泥しない柔軟な姿勢とともに地域社会の課題解決に寄与してまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大阪公立大学医学部附属病院 病院長 中村 博亮

第54回 医療連携 Face to Faceの会 を開催しました

令和7年3月15日(土)、第54回となるFace to Faceの会を
あべのハルカス会議室にて開催いたしました。

消化器内科診療科部長の藤原靖弘の講演では「**新しい内視鏡
センターオープン**」と題し、令和6年10月に完成した内視鏡セン
ターのご紹介と消化器内科の取り組みを講演いたしました。

また、泌尿器科診療科部長の内田潤次から「**腎泌尿器疾患の最
前線:最新技術とその実践**」をご紹介させていただきました。

情報交換会を含め多くの先生方にご参加いただき誠にありが
とうございました。今後も改善を重ね、より良い会の運営を目指
してまいります。



▲消化器内科 藤原 靖弘



▲泌尿器科 内田 潤次



公大病院の「Face to Faceの会」って何？

「Face to Faceの会」はその名のとおり、地域医療機関の先生方と
当院各診療科の医師が“顔を合わせて”連携を深めることを目的とした会です。



当院の診療科部長による講演では、大学病院での最新
治療や診療科の取り組みについてご紹介します。

また講演の休憩時間を利用した情報交換会(自由参加)
では、地域の先生方と各診療科部長でざっくばらんな情
報交換を行っております。

地域医療機関の先生方にはぜひご参加いただき、共に
地域医療の発展に貢献できればと存じます。



▲情報交換会の様子 ※自由参加

次回のFace to Faceの会は

令和7年**7月12日(土)16:00～**

あべのハルカス25階会議室にて開催します。

開催内容の詳細は次号でご案内予定です！

＼これまでのご参加有無は問いません！／

Face to Faceの会に関するアンケートご協力をお願い

より活発な地域連携を目指し、当院ではFace to Faceの会の開催内容の改善を重ねています。
多くの方にご参加いただけるよう、ぜひアンケートにご協力ください。



スマホで3分！匿名です！
「こんな講演が聞きたい」「参加したいが行きづらい…」など
忌憚のないご意見をお聞かせください。

消化器内科

消化器内科では、食道、胃、小腸、大腸、胆膵領域を含む全ての消化器疾患の診療を行っています。早期消化管癌、食道アカラシア、胆膵領域の内視鏡治療のみならず、炎症性腸疾患や好酸球性消化管疾患に関しても国内でも有数の治療実績を有しています。また、最近では胃食道逆流症（GERD）に対する内視鏡治療も導入しています。

機能性ディスペプシア、慢性便秘などの消化管の機能性疾患についても、積極的に検査や治療を行っています。

抗がん剤治療に関しても、食道、胃、大腸、胆道、膵、神経内分泌腫瘍と幅広く行っています。

2024年9月に内視鏡センター増築・改装工事が完了し、透視内視鏡室3室を含む最新の設備が整備された計8室で運用しています。今後はさらなる内視鏡診療の拡充を図ります。

患者様に最適な治療を提供できるように尽力いたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

主な処置件数（2024年度）（一部重複あり）

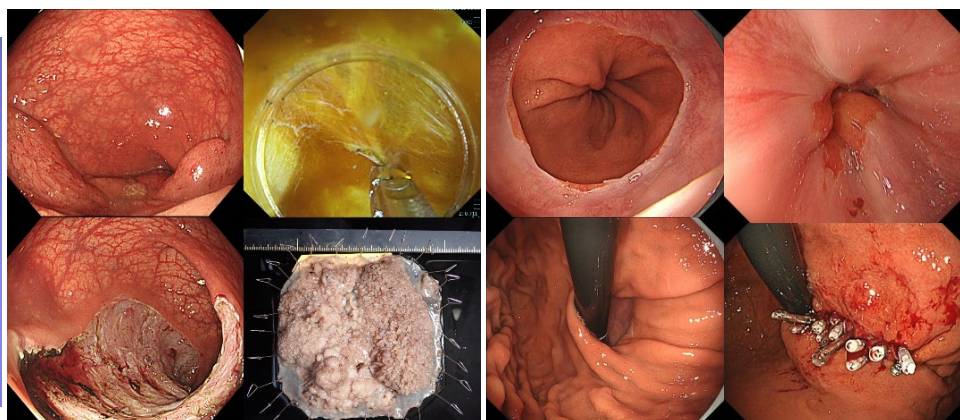
ESD（咽頭、食道、胃、大腸） 362件

ERCP・EST 701件、超音波内視鏡検査・穿刺 1150件

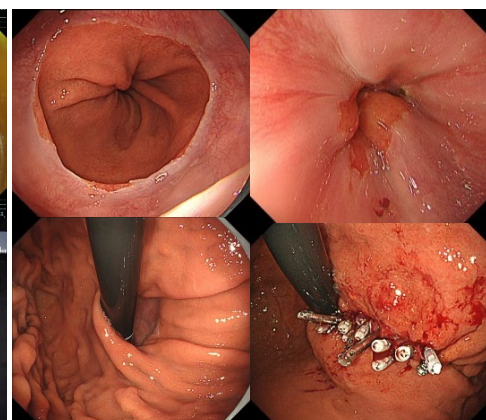
POEM 70件、小腸カプセル・バルーン内視鏡検査 241件



最新設備の処置用ブース



大きな大腸腫瘍のESD



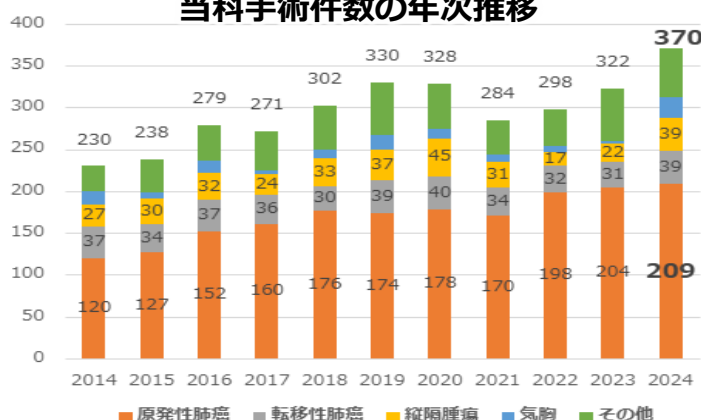
内視鏡的逆流防止粘膜切除術

呼吸器外科

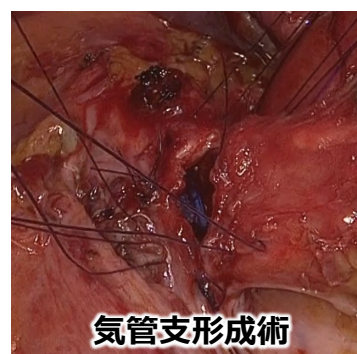
2024年の**全手術数は370例**で過去最高となりました。**低侵襲で緻密な手術が可能なロボット手術数や、肺機能を温存する区域切除数**も過去最高（各82例, 前年比1.6倍; 60例, 前年比1.3倍）となり、**根治性を担保した低侵襲な手術**を積極的に実施しています。

一方で、**進行癌**に対しては、気管支形成術や肺動脈形成術などの**拡大手術や術前術後治療を併用した手術**が必要ですが、最新のエビデンスの元に、積極的に行なっています。

当科手術件数の年次推移



ロボット手術



気管支形成術

2025年4月から大阪市立総合医療センター・副部長の**水口 真二郎先生を准教授**として迎え、更なる向上を目指して活動しております。

肺結節や縦隔病変の患者様がおられましたら遠慮なくご相談ください。気胸、膿胸にも迅速に対応します。宜しくお願い申し上げます。



水口 真二郎准教授

診療体制

- ✓ 呼吸器外科専門医7名
- ✓ ロボット手術術者5名
(指導医3名)

外来担当医（初診・再診）



月	火	水	木	金
原 幹太郎 病院講師	宗 淳一 教授	水口 真二郎 准教授	宗 淳一 教授	井上 英俊 講師

次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

放射線治療科

血液内科・造血細胞移植科

Face to Faceの会 ご案内

今回は 令和7年7月12日（土）に開催します。

詳細については決定次第センターたよりにてご案内いたします。

地域医療連絡室

月曜日～金曜日 9:00～19:00

電話：06-6645-2877

FAX：06-6646-6215

URL：https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html

ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、

診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や

別添していただく診療情報提供書はできる限り

詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。

また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

初診受付時間 : 8 : 45 ~ 10 : 30

休診日 : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。